関中学校だより

関中学校HPにアクセス

第２４号
令和６年１２月１１日発行
亀山市立関中学校
文責：堀内

人間の尊厳を求めて

１２月４日（水）、１年生が校外人権学習で奈良県の水平社博物館、西光寺（水平社宣言発祥の地）に行きました。人権学習の取り組みとして、１１月より権利や差別や偏見、あってはいけない違い、部落差別等について学習を進めてきました。水平社宣言を起草した西光万吉さんの弟の孫である清原隆宣さんの講話、水平社博物館の見学、西光寺周辺のフィールドワークなどを通して、差別解消のために運動している人に出会い、差別をなくしていくために自分たちのできることについて考えました。清原さんは水平社宣言が出されてから１００年以上経っているのにまだ差別があること、差別は人が作るものであり、時には人の命まで奪うものであることなど、自分の経験を交えて話をしてくださいました。「人は違ってあたりまえであること」「人の立場に立って考えることが大切であること」「自分がされてうれしいことはどんどんやる」という言葉も印象に残りました。この人権学習を通して差別を見抜く力をつけること、差別と出会ったときに実際に行動することが大切であると学びました。１２月５日（木）には、亀山市人権・ダイバーシティ課職員の石垣忠さんをお招きし、地元で差別をなくすために活動している人から学ぶ機会をもちました。これらの人権学習の取り組みを通して、すべての人が自分の命、人の命を大切にして自分らしく生きていくことができる社会でなければならないと強く感じました。

生徒の感想（12/5）

・自分とは差別は関係ないと思っていたけどすごく身近なところに差別があったことに驚きました。以前結婚式に親せきが全然来てくれなかったという具体的な差別を知ることができました。人権についてもっと知りたいと思いました。

・自分はそんな話を聞いたこともなかったし、差別を感じたこともなかったので、こんなことがあってはいけないと思いました。

アスレとの交流会を行いました

１２月３日（火）、アスレの園児を関中学校へお招きし、３年生が園児と交流しました。夏休みに生徒たちが製作したおもちゃで園児に遊んでもらいました。釣り、射的、パチンコなど、工夫された手作りのおもちゃで楽しそうに遊ぶ園児の姿がありました。その後は、外でチューリップの球根を植えました。園児と中学生とで作業する様子はとっても和やかな雰囲気で、みんなが笑顔になりました。来年の春、チューリップの花が咲くことが楽しみです。

救急救命講習を実施しました

１１月１４日（木）、２年生が救急救命講習を受けました。亀山市消防本部より２名の講師にお越しいただきました。救急車が到着するまでの時間の心肺蘇生（AED の使用方法、心臓マッサージ等）について丁寧に指導していただきました。生徒たちは、一人ひとり手順を確認しながら心肺蘇生の方法を学びました。緊急時に命を救えるように実際に体験することが必要であると感じました。

Kameyama Sports Weekの取り組み紹介

Kameyama Sports Week は、「豊かな心と健やかな体をはぐくみ体力向上の基礎を身につける」「体を動かす習慣づくりを行う」ことを目的に、本年度より亀山市の小中学校で実施しています。１１月２８日（木）～１２月４日（水）は、第２回 Kameyama Sports Week でした。本校では、体力の向上と柔軟性を高めることをテーマに、体育の時間に取り組みを行いました。少し馬跳びをしただけで息が上がっている様子がありました。また、柔軟性を高めるストレッチでは、体が硬い生徒が多く、お風呂上りなどにストレッチをすると良いと感じました。日頃から体をしっかり動かして、体力向上に努めてほしいと思います。